

都市再生整備計画(第4回変更)

さいじょうえきしゅうへんちく
西条駅周辺地区

ひろしま ひがしひろしまし
広島県 東広島市

平成28年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	ひがしひろしま 東広島市	地区名	さいじょうえんしゅうへん 西条駅周辺地区	面積	107.4 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標
 広島県中央地域の中核的都市として、広域的な拠点性の向上を図る。
 目標1: 高次都市機能の集積(文化芸術・交流・生涯学習機能等の集積)
 目標2: 魅力ある中心市街地の形成(観光・商業業務機能の活性化)
 目標3: 居住機能の向上(都市インフラ整備、コミュニティ機能の充実)

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
 (経緯)
 東広島市は、広島大学の統合移転決定を機に昭和49年に市制施行、平成17年に周辺町と合併した。「賀茂学園都市建設事業(広島大学移転、東広島ニュータウン建設等)」、「広島中央テクノポリス建設(研究機関、産業団地等の集積)」の2つの大型プロジェクトを中心に都市づくりを推進し、国内でも有数の成長都市として発展した。
 計画地区一帯は、古くから山陽道の宿場町として、近年は市の玄関口及び中心市街地として栄えてきたが、前述の大型プロジェクトが市街地の外周部で展開され、計画地区一帯の地域活力が徐々に低下してきた。その対応として次の事業等を実施し、計画地区一帯の人口がこの10年間で約12%増加するなど一定の成果を得た。
 ・中心市街地活性化基本計画:H11策定
 ・西条駅前土地区画整理事業:施行面積 約7.6ha、施行期間 H6～H23(清算期間5年を含む)
 ・西条岡町みち再生事業:道路、駐車場等の整備、施行期間 H15～H20
 ・酒蔵地区のまちづくり事業:散策道、ポケットパークの整備、施行期間 H15～H21(H17～H21 都市再生整備計画事業として実施)
 (現況)
 今後、計画地区を本市及び広島県中央地域の都市拠点としての拠点性を高めていくため、高次都市機能の集積等による都市の魅力づくりが必要である。また、従前からの課題であった駅南北のアクセス性の向上等について、継続して課題解決に取り組む必要がある。こうした課題を踏まえ、平成23年1月に東広島市成長戦略基本方針を策定し、計画地区一帯を活性化する姿勢を市として明確にした。
 高次都市機能の集積のため実施する本計画の基幹事業である市民ホール建設については、アンケート、ワークショップ(市民検討委員会 延12回、延212人)等のプロセスを経て基本構想・基本計画を策定(H21～H23)し、事業を推進している。また、観光・商業業務機能の拠点性を高めるため、本計画に並行して、H23～H25に、中心市街地活性化協議会を立上げ官民協働で中心市街地活性化基本計画を策定する予定としている。なお、その作業の一環としてH23.7.21～22に実施した来街者アンケート(回答数312人)によると、中心市街地活性化について回答者の90%が必要と回答している。

課題
都市機能の集積と高度化
 ・本市及び広島県中央地域の活性化を図るため、本市の都市拠点と位置づけている計画地区において、公共サービスの充実、文化芸術・交流・生涯学習機能等の高次都市機能を集積することが必要である。
 ・計画地区は、本市における重要な交通結節点であり、歴史的なまちなみや酒蔵が集積する観光拠点でもある。こうした特長を活用し、既存商店街の活性化や魅力的なまちなみの形成を進め、観光・商業の活性化を図っていく必要がある。
居住機能の向上
 ・計画地区は、鉄道により南北の地域に分断されており、地域住民の居住環境を向上させるため、駅南北のアクセス性の向上が必要である。
 ・全市的にみて公園緑地等の憩いの場が不足している地域や災害や犯罪の発生する恐れのある箇所があり、地域住民の生活環境を質的に向上させるため、都市インフラ整備や防災・防犯対策が必要である。

将来ビジョン(中長期)
 高次都市機能の集積、酒蔵地区を中心とした観光機能の充実により、にぎわいのある中心市街地を形成する。また、居住機能の充実により、地域住民の生活の質(QOL)の向上を図り、コンパクトで集約型の都市づくりを推進する。
 (既存の計画等における記載等)
 東広島市総合計画(H20.2):計画地区一帯を、本市の中心市街地として整備を促進するとともに本市の広域的観光資源である酒蔵を中心とした観光地づくりを推進する地区として位置づけている。
 東広島市都市計画マスタープラン(H23.5):計画地区一帯を、本市の都市拠点として商業・サービス機能、行政機能、文化芸術機能、観光機能等の都市基盤の整備を推進する地区として位置づけている。
 東広島市緑の基本計画(H23.5):計画地区東側について、市街地で公園が不足する地区と分析している。
 東広島市移動円滑化基本構想(H15.3):地区計画一帯を、バリアフリー化の促進に係る重点整備地区として位置づけている。
 東広島市音楽のまちづくり構想(H21.5)音楽をはじめとした文化芸術を楽しむことで人と人が出会い、交流の輪が広がるまちづくりを進めるため、文化施設整備の必要性を掲げている。
 東広島市市民協働のまちづくり行動計画(H22.2):計画地区一帯を、市民協働のまちづくりの拠点となる拠点型まちづくりセンターを整備する地区として位置づけている。
 東広島市成長戦略基本方針(H23.1):本市の魅力高め、都市活力を向上させるための施策方針を策定。重点項目として、「コンパクトで集約型の都市づくりの推進」、「魅力ある中心市街地の形成」等を掲げている。計画地区一帯を、都市機能の集積、商業・観光の活性化を推進する都市拠点、中心市街地と位置づけている。

目標を定量化する指標

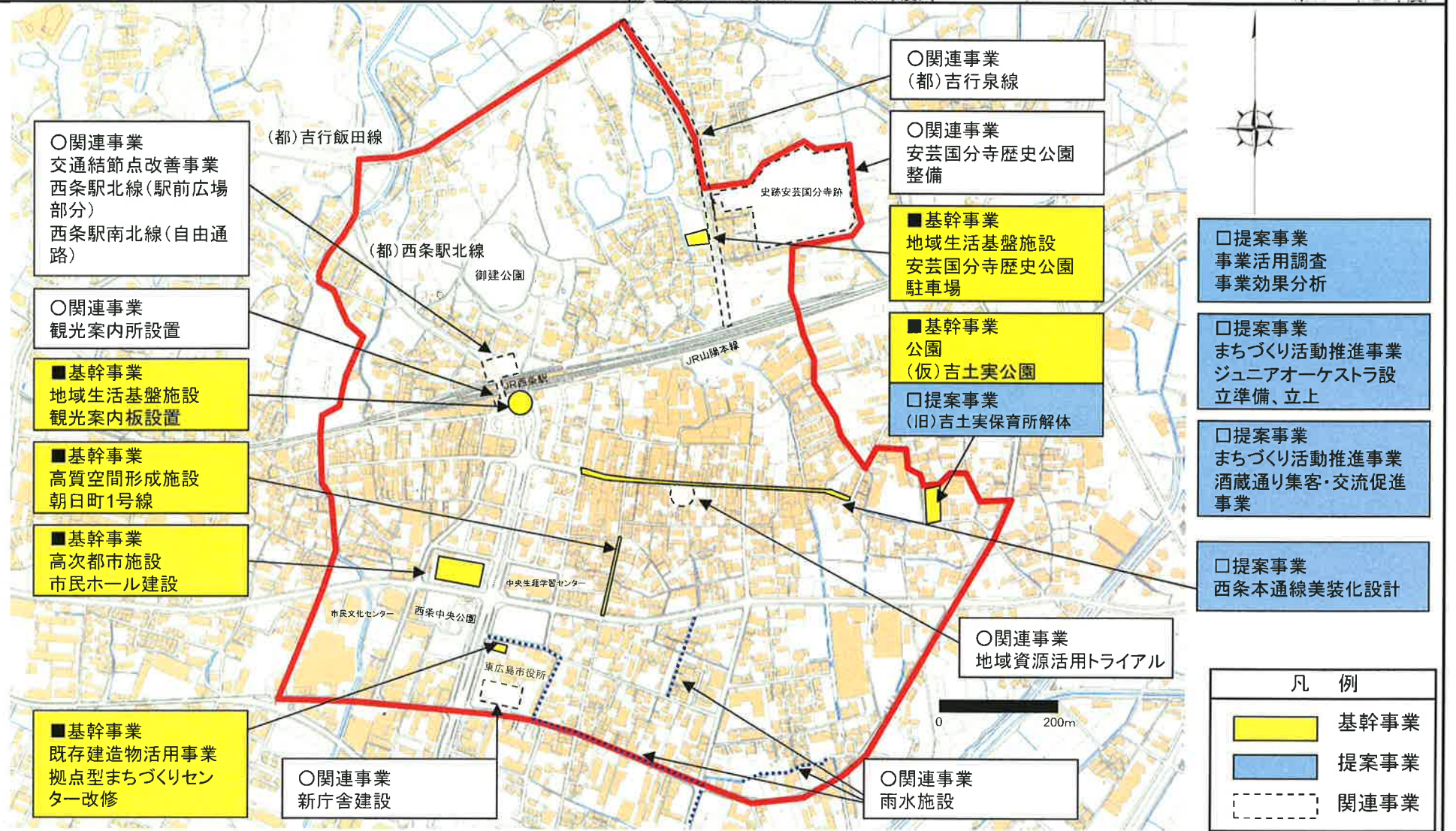
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
			従前値	基準年度	従前値	目標年度		
中心市街地における大規模ホールの利用者数	人/年度	市民ホール等の大ホール利用者数の調査	40,987	H22	51,000	H28		
酒蔵地区の観光客数	人/年度	観光客数の調査(西条駅前観光案内所の乗訪者数による調査、酒まつりを除く)	20,392	H22	25,500	H28		
計画地区内の居住人口	人	計画地区内人口の調査(住民基本台帳とGISのマッチングによる調査)	5,654	H22	5,800	H28		

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○文化芸術・交流・生涯学習機能等の高次都市機能の集積</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央生涯学習センターの老朽化に対応するため現施設を解体し、文化芸術・交流・生涯学習機能等を集積するため市民ホールを建設する。 市役所庁舎の老朽化に対応するため現施設を解体し、行政サービス機能を集積するため新庁舎を建設する。 主に小学生を中心としたジュニアオーケストラを設置し、市民ホールを拠点として活動を実施する。 	<p>市民ホール建設(基幹事業:高次都市施設) 新庁舎建設(関連事業) ジュニアオーケストラ設立準備・立上(提案事業:まちづくり活動推進事業)</p>
<p>○交流人口の増大による観光・商業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒蔵地区と連続する安芸国分寺歴史公園に駐車場を整備し、当該駐車場へのアクセス性を向上させる。 中心市街地基本計画を策定し、酒蔵通りの景観補修、道路美装化等を実施し、観光・商業機能の充実を進める。 上記計画の策定作業に併せて、情報発信機能の充実や地域活性化イベントを実施する。 中心市街地における交通拠点機能を高め、利用者にとって公共交通を利用しやすい環境を整える。 市の玄関口であるJR西条駅舎内に観光案内所を設置し、観光客の誘致及び観光地への誘導を図る。 	<p>安芸国分寺歴史公園駐車場整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 安芸国分寺歴史公園整備(関連事業) (都)吉行泉線(関連事業) 朝日町1号線(基幹事業:高質空間形成施設) 西条本通線(提案事業:地域創造支援事業) 観光案内板設置事業(基幹事業:地域生活基盤施設) 酒蔵通り集客・交流促進事業(提案事業:まちづくり活動推進事業) 地域資源活用トライアル(関連事業) 西条駅前広場、西条駅自由通路(関連事業) 観光案内所設置(関連事業)</p>
<p>○居住環境・生活環境の質的向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の公益的な活動を支援し、市民協働のまちづくりを推進するため、拠点型まちづくりセンターを既存施設の改修により整備する。 公園緑地等の不足している地域に公園を整備する。 鉄道により南北の地域が分断されているため、駅南北のアクセス性の向上を図る。 災害や犯罪の発生する恐れのある箇所について、消防車両等のアクセス性の向上、浸水対策等の防災等の対策を行う。 	<p>拠点型まちづくりセンター改修(基幹事業:高次都市施設) (仮)吉土実公園整備(基幹事業:公園) (旧)吉土実保育所解体(提案事業:地域創造支援事業) 西条駅前広場、西条駅自由通路(関連事業) (都)吉行泉線(関連事業) 雨水施設整備(関連事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>○市民協働のまちづくりについて</p> <p>市民協働のまちづくり指針(H22.2)、市民協働のまちづくり行動計画(H22.2)に基づき、市民と行政が力をあわせ、ともに魅力あるまちづくりの推進を図っている。</p> <p>行政区・コミュニティをはじめとする市民活動組織や企業、NPOなど地域を支える多様な主体が、それぞれの役割や特性を認識し、地域における共通課題の解決や共通の目的を実現できる「市民と行政の協働体制」の構築に向けて、住民自治協議会の設立支援等に取り組んでいる。</p>	
<p>○中心市街地活性化基本計画の策定について</p> <p>にぎわいのある中心市街地を形成するため、H23～H25において中心市街地活性化基本計画を策定する予定である。</p> <p>活発に活動している市民団体等を巻き込みながら策定作業を進めていくため、関係団体(商工会議所、観光協会等)やまちづくり団体(西条ステキ委員会、商店街等)と連携を図っている。中心市街地活性化基本計画の進捗に併せ、本計画についても適宜変更していく予定である。</p>	
<p>○市民ホールについて</p> <p>H17合併時に策定した東広島圏域新市建設計画(H16.3)において、中心市街地の活性化、都市としての中心的機能の充実を推進するための施設として位置づけている。</p> <p>H20に、市民の文化・芸術・交流拠点のあり方に関する調査(アンケート:回答者2,035人(回収率50.9%))を行い、H21～H23において、ワークショップ等の市民参画手法を活用しつつ、基本構想・基本計画を策定している。</p> <p>また、ソフト面については、H20に音楽のまちづくり構想を策定し、その一環として、市民ホール開館に向けて小学生を主体としたジュニアオーケストラを編成することとしている。現在、広島大学、エリザベト音楽大学等の協力を得て、H21にモデル事業を施行し、H22よりジュニアオーケストラ設立準備クラス(参加者:129人 H22.12.1時点)を編成し、運営している。</p>	

西条駅周辺地区(広島県東広島市) 整備方針概要図

目標	広島県中央地域の中核的都市として、広域的な拠点性の向上を図る。	代表的な指標	中心市街地における大規模ホールの利用者数 (人/年度)	40,987 (H22年度)	→	51,000 (H28年度)
			酒蔵地区の観光客数 (人/年度)	20,392 (H22年度)	→	25,500 (H28年度)
			計画地区内の居住人口 (人/年度)	5,654 (H22年度)	→	5,800 (H28年度)



計画の名称	西条駅周辺地区都市再生整備計画	交付対象	東広島市
計画の期間	平成24年度～平成28年度		

